



2023年6月27日

各位

会社名 株式会社創健社
代表者名 代表取締役社長 中村 靖
(コード番号 7413)
問合せ先 取締役管理本部長 飯田雅之
(TEL 045-491-1441)

上場維持基準への適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月15日に「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」を提出し、その内容について開示しております。2023年3月31日時点において、東京証券取引所スタンダード市場における上場維持基準に適合しない状況となりました。下記のとおり上場維持基準への適合に向けた計画書を作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2023年3月31日時点における東京証券取引所スタンダード市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており「流通株式時価総額」については基準に適合していません。当社は「流通株式時価総額」に関して、上場維持基準を充たすために、各種取組を進めてまいります。

| | | 株主数 (人) | 流通株式数 (単位) | 流通株式時価総額 (億円) | 流通株式比率 (%) |
|-------------------------------|----------------|------------|---------------|------------------|---------------|
| 当社の 適合状 況及び その推 移 | 2021年6 月末時点 | 1,190人 | 3,523単位 | 7.27億円 | 49.9% |
| | 2023年3 月末時点 | 1,335人 | 3,799単位 | 8.04億円 | 53.8% |
| 上場維持基準 | | 400人 | 2,000単位 | 10億円 | 25% |
| 計画期間 | | | | 2024年3月末まで | |

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 上場維持基準への適合に向けた取組の実施状況及び評価(2021年12月~2023年3月)

(1) 事業法人等株主(金融機関含む)が保有する株式の減少

流通株式数の向上について、普通銀行所有株式(32,700株→0株)、保険会社所有株式(3,200株→0株)、事業法人所有株式(141,700株→129,450株)と減少に努めてまいりました。

(2) 業績向上

当社といたしましては、第5次中期経営計画『新世代に向けた食の提案』に沿って(オーガニック&プラントベースライフスタイルの提案・WEBの積極的な活用・新規市場の拡大・生産者及びメーカーとの連携強化・環境に配慮した原材料及び包材等への取り組み・ジロロモーニブランドの拡売・女性スタッフ発 開発商品拡充)の業績向上とともに、個人株主向けに株主優待制度の見直しを検討してまいりました。

(3) 取組に対する評価

以上のような取り組みの結果、流通株式時価総額は2021年6月30日時点で7.27億円であったのに対して2023年3月31日時点で8.04億円まで上昇しており、引き続き同様の取組を2024年3月末時点では上場維持基準である10億円を上回る見込みであります。従って現時点において、当初の計画を変更する必要性はないと判断いたしました。

3. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針、課題及び取組内容

(1) 基本方針

当社は株主の皆様への利益還元を経営上の最重要課題のひとつと考え、将来の事業展開と経営体質の強化のため内部留保を確保しつつ、安定的に適正な利益還元の実行を基本としておりますので、スタンダード市場上場維持基準の適合に関しては、適正な配当を続けながら、現株価を維持し、流通株式数を増加させることによって「流通株式時価総額」を10億円にすることを基本方針といたします。

(2) 課題

流通株式数が増加したときに現株価を維持できるかが、課題の一つであります。

(3) 取組内容

当社といたしましては、第6次中期経営計画『新たな成長に向けた価値観の向上』に沿って(オーガニック&プラントベース商品の充実・自社ECサイトの拡充・新規市場の拡大・商品価値の向上と安定供給・サステナビリティの取組・ブランド強化・新たなターゲット(ペルソナ)へのものづくり)の業績向上とともに、個人株主向けに株主優待制度の見直しを実施する予定でございます。また引き続き事業法人所有株式の売却をお願いいたしますとともに純投資としてご所有の事業法人の株主には、年度末に所有目的、方針、複数株式の運用状況等を含めた保有状況報告書の提出をお願いして、「流通株式時価総額」10億円を目指して参ります。

以上